

留 学 報 告 書

記入日:2016年5月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科グローバルビジネスコース
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アルバータ大学 現地言語: University of Alberta
留学期間	2015年8月～2016年4月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	特になし 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年4月28日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月から12月 2学期:1月から4月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(CAD)	円	備考
授業料	0	円	1CAD=90円で換算
宿舍費	6400	576000円	
食費	3200	288000円	
図書費	1000	90000円	
学用品費	300	27000円	
教養娯楽費	500	45000円	
被服費	500	45000円	
医療費	0	0円	
保険費	1000	90000円	形態:明治大学の保険と留学先での保険
渡航旅費	2200	200000円	
雑費	1000	90000円	
その他	1000	90000円	
その他	1000	90000円	
その他	1000	90000円	
合計	18600	1,676,000円	

渡航関連

渡航経路: JAL

渡航費用

チケットの種類 オープン

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 200,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Air Canada

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮 International House

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3) 住居を探した方法:

大学のHP

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House はカナダ人、留学生がともに住む寮。留学生の比は多い。私の年までは residence fee が義務付けられており、それにより寮内のイベントが開催されていた。しかし、2016 年度からは fee の支払いは任意になっている。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学内のクリニック、大学外の整形外科

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

主に友達。大学には International centre があるので、そこで相談もできる。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友達に聞く。基本的に安全。ダウンタウンは危ないらしい。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは接続が悪い。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードで支払い。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

やる気。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
就職活動中
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MARK301	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2015.9~2015.12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	
授業内容	マーケティングを基礎から学ぶ。
試験・課題など	Midterms, Final Exam, Presentation, Research participation
感想を自由記入	Marketingの基本の授業。難しくはない。事前にコトラーを読んでおけば理解できるし、テストで点もとれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SMO301	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2015.9-2015.12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Richard Field
授業内容	人の行動の原因、影響を学ぶ。ビジネス学部設置されているが、心理学・社会的要素が強い授業。
試験・課題など	Midterms, Final Exam
感想を自由記入	教授が日本好きで、日本の例がよく授業中に出てくる。テストは範囲が割と広く、覚えることも多い。教授の話は、勉強というより人生訓として役立つ。テストで点をとるためには、教科書をよく読むこと。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
BUEC342	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2015.9~2015.12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	John Turvey
授業内容	国際ビジネスについて貿易的な観点から学ぶ。
試験・課題など	Team presentation, Short papers, Final
感想を自由記入	教授が優しく、質問すると親身に教えてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
MARK442	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2016.1-2016.4
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jim Swaffield
授業内容	国際マーケティングについて基礎から学ぶ。
試験・課題など	マーケティングプランをチームで書く。Examが2回。
感想を自由記入	マーケティングの基本が分かれば理解できる。比較的やさしい授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SM0404	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2016. 1－2016. 4
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Kara Deringer
授業内容	コミュニケーションについて学ぶ。
試験・課題など	2週間に1回小テストがある。プレゼンあり。レポートあり。
感想を自由記入	授業では生徒とよく話す場面が多い。コミュニケーションのクラスなので発言が重視される。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SM0311	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2016. 1－2016. 4
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Heather Caltagirone
授業内容	カナダの人事について学習する。
試験・課題など	中間テスト2回。プレゼンあり。レポートあり。
感想を自由記入	先生は非常に熱意がある。教科書中心で進んでいくため、予習復習はしておいたほうがいい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SM0417	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	2016.1-2016.4
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Bruce Thomson
授業内容	国際人事について学ぶ。チームでの論文執筆がメイン。
試験・課題など	チーム論文、プレゼンテーション、Exam
感想を自由記入	先生が熱心なので、質問するとよく答えてくれる。チームで国を選び、それについてプレゼンと論文を書く。忙しいがなかなか面白かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	
2015年 1月～3月	
4月～7月	留学準備開始 ビザ取得、寮の手続きなど
8月～9月	渡航
10月～12月	1学期
2016年 1月～3月	2学期
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	理由は以下の通りです。 ①自分自身のスキルと知識が海外でも通用するか確かめたかったから ②英語力を向上させ、グローバルに活躍できるビジネスパーソンになろうと考えていたから ③海外の大学生活を味わうことは、(就活など関係なく)長い目で見て、自分自身の人生にプラスになると考えていたから
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	メンタル強化が大切だと思います。語学力は後からついてくるので、困難に直面しても簡単にくじけない心が大切ではないでしょうか。学習面では、学ぶ強化の基礎知識があると「これやった～」と思えるので、自信に繋がります。荷物という面では、渡航先の気候を良く調べて持って行くことを意識してください。しかし、私の年は暖冬で、持って行った手袋や帽子などはあまり役に立ちませんでした。このように例年通りにいかない時もあるので、色々な服を持って行くことをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	理由は以下の通りです。 ①英語力を向上させたかったから ②留学生比率が多いから ③自然が豊かでリラックスできそうだから ④今までカナダを訪れたことがないから ⑤ビジネスに強く、世界大学ランキング100位以内に入るから
大学・学生の雰囲気	留学生が半数ぐらいいるので、キャンパスの中はグローバルでした。しかし、カナダ人はカナダ人、留学生は留学生で固まっていたりします。日本人よりは時間やルールに厳格ではないので、ゆったりとした雰囲気が味わえます。また試験期間前になると、多くの学生が図書館で遅くまで勉強をしています。勉強する雰囲気は十分に整っていると思います。
寮の雰囲気	寮はinternational houseに住んでいました。文字通り、世界各国から学生が来ているので、フロアも国際色豊かです。頻りにイベントが行われており、それらを通じて学生と仲良くなることができます。生徒の半数ぐらいは何年もinternational houseに住んでいるので、顔見知りだったりします。
交友関係	寮で過ごすことが多かったので、ほとんど友達は寮で作りました。授業で仲良くなった友達もありますが、基本的に日本と同じように、授業内で友達を作るのは難しいと思います。寮や、クラブなどで友達作りをするのがいいのではないのでしょうか。
困ったこと, 大変だったこと	大変だったことは勉強です。どれくらい勉強すればいいのか、最初は分からずかなり勉強していました。それ以外に困ったことはありません。分からないことがあれば、友達に聞いたり、international centreに聞いていました。
学習内容・勉強について	私は国際ビジネスを専攻していました。授業は講義形式のものが多く、そこまで日本の授業とは変わりません。ただ、授業の一部としてチームでのプレゼンやレポートを書くことが多く、現地学生と協力しながら進めました。個人的には、講義よりもチームでのコミュニケーションのやりとりの方が難しかったです。日本にはない授業が多くあるので、ぜひ取ってみてください。
課題・試験について	課題も試験も慣れるまで不安になりますが、なんとかします(なんとかかなります、ではありません)。テストの点が悪かったときは、教授に相談することと、その試験の方式を分析し、次で良い点をとることを心がけていました。課題も予習も効率よく進めていくことが大切です。私は勉強するために留学したため、一生懸命勉強しましたが、力を抜いて勉強してもいいのではないのでしょうか。実際、現地の学生が予習をバリバリしていると言われると必ずしもそうではないと思います。自分の留学の目的を意識した勉強スタイルが大切だと思います。アドバイスとして、最初は一生懸命勉強して、その後周りの様子を見ながら、勉強量を調節していけばいいと思います。
大学外の活動について	1学期は趣味のジョギングを続けていましたが、割と授業中心の生活をしていました。2学期からテコンドーに入り、クラブ活動を始めました。クラブで多少交友関係も増えましたが、やはり寮での友達と何かすることが多かったです。授業と課外活動、友達と過ごす時間を並立するのは難しいですが、タイムマネジメントをしながら行いました。

<p>留学を志す人へ</p>	<p>留学は自己責任です。自分自身が何をやりたいのか、明確なビジョンがあるほど、目的に向かって時間を無駄にすることなく過ごせると思います。しかし、明確な目的がなくても、留学が無意味だというわけでは決してありません。留学して感じたことですが、留学は長い人生の一部分であることを自覚することが大切です。自分ができることに思いっきり挑戦し、自分の可能性を広げてください。海外で過ごすことは一生の財産になります。余談ですが、海外から来る交換留学生はわりとなんとなく留学しています。彼らのように気負わず楽しんでください。あとあと振り返って「よかったな」と思えればいいのではないのでしょうか。気負わず、しかしやるべきことはしっかりとやるのが大切です。</p>
----------------	---

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強
午後	授業	ジム	授業	ジム	授業	ジム	ジム
夕刻	テコンドー				テコンドー		
夜							

